

施設名

長房ふれあい館

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	施設常駐職員 2人/日	A	利用者の増加に伴い、アシスタント職員の増員という柔軟な対応をしたことを評価する。	常時2名以上の勤務体制を整えている(アシスタント職員・事務局職員含む)。又、浴室利用者増加に伴う対応の為、アシスタント職員を4月から新たに採用している。	A	利用者の増加に伴い、アシスタント職員の増員という柔軟な対応をしたことを評価する。	常時2名以上の勤務体制を整えている(アシスタント職員・事務局職員含む)。又、浴室利用者増加に伴う対応の為、アシスタント職員を4月から新たに採用している。	B	常時2名以上の勤務体制を整えている(アシスタント職員・事務局職員含む)。	A	東浅川保健福祉センターの休館に伴い、浴室を中心とした利用者が増加したが、アシスタント職員を増員して対応したことを評価する。	年間を通して、その都度適した人数を配置していた。	
	定期清掃実施回数 4回/年	/		4月:建物周辺・駐車場の除草 5月:なし 6月:定期清掃(除草作業含む)	/		7月:なし 8月:定期清掃 9月:建物周辺・駐車場の除草	/	10月:定期清掃(屋上清掃含む) 11月:建物周辺・駐車場の除草 12月:なし	B		1月:なし 2月:定期清掃 3月:なし 委託業者による年間の定期清掃は、過不足なく実施した。	
	設備点検 11回/年(空調・給湯・消防用設備、自動扉、自家用電気工作物)	/		4月:自家用電気工作物点検 5月:なし 6月:自家用電気工作物点検 空調及び給湯設備等保守点検 ガス点検	/		7月:自動扉保守点検(正面・左右) 8月:自家用電気工作物点検 9月:消防用設備保守点検	/	10月:自家用電気工作物点検 11月:なし 12月:自家用電気工作物点検	B		1月:自動扉保守点検 2月:自家用電気工作物点検 3月:消防用設備保守点検 機械警備業務総合点検	
	職員研修 1回/年	/		6月に公共建築物日常点検等研修会に参加した(事務局職員)。	/		7~9月は職員研修なし。	/	10~12月は職員研修なし。	B		1~3月は研修なし。 連年で、職員の新規採用時に、社協及び施設運営に関する研修を実施した。	
定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がされていること	B	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか。 【確認資料例:銀行口座】	固有の銀行口座有り。	B	固有の銀行口座有り。	B	固有の銀行口座有り。	B		固有の銀行口座で管理した。		
		B	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか。 【確認資料例:独立した会計帳簿】	独立した会計帳簿有り。	B	独立した会計帳簿有り。	B	独立した会計帳簿有り。	B		独立した会計帳簿で管理した。		
		B	利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか。 【確認資料例:独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	利用料金、使用料の徴収は適正に行われている。また、4月からキャッシュレス決済にも対応しており、4~6月で合計60件処理した。	B	利用料金、使用料の徴収は適正に行われている。	B	利用料金、使用料の徴収は適正に行われている。	B		利用料金・使用料の徴収は適正に行われていた。		
	収支計画が適正であること	B	収支計画が適正に執行されているか。 【確認資料例:事業計画書(収支計画)・事業報告書】	資金収支予算書に基づいて、適正に執行している。	B	資金収支予算書に基づいて、適正に執行している。	B	資金収支予算書に基づいて、適正に執行している。	B		資金収支予算書に基づいて、適正に執行した。		
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか。 【確認資料例:事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	適切な人員配置をしている。	B	適切な人員配置をしている。	B	適切な人員配置をしている。	B		適切な人員配置を行い、職員の育成に努めた。		
		B	給与の支出が適切に行われているか。 【確認資料例:給与規程・賃金台帳】	規定に基づき、適切に行われている。	B	規定に基づき、適切に行われている。	B	規定に基づき、適切に行われている。	B		規程に基づき、適切に行われた。		
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか。	B	業務の一括委託が行われていないか。 【確認資料例:第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	市と協議の上で承諾を得て、一部委託業者へ依頼している。	B	市と協議の上で承諾を得て、一部委託業者へ依頼している。	B	市と協議の上で承諾を得て、一部委託業者へ依頼している。	B		現場職員による対応の他、市と協議の上で承諾を得て、一部委託業者への依頼により管理運営を行った。			
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	開館日数 335日/年(休館日:毎月第2・4月曜日、年末年始)	/		4月:28日 5月:29日 6月:28日	/		7月:29日 8月:29日 9月:28日	/	10月:29日 11月:28日 12月:26日	B		1月:25日 2月:27日 3月:29日 年間を通して規定通り開館した。	
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開館日数、開館時間は守られているか。 【確認資料例:条例、規則・日報、月報・事業報告書】	規定に基づき、開館日数、開館時間共に守られた。	B	規定に基づき、開館日数、開館時間共に守られた。	B	規定に基づき、開館日数、開館時間共に守られた。	B		規程に基づき、開館日数、開館時間共に規定通り開館した。		
		B	減免の申請手続きがなされた場合、適正に処理されているか。 【確認資料例:減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	6月に1件申請があり、適正に処理された。	B	7~9月は4件申請があり、適正に処理された。	B	10~12月は3件申請があり、適正に処理された。	B		1~3月は2件申請あり。 今年度は合計10件の申請があり、適正に処理した。		
	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか。	B	文書の管理・保存が適切に行われているか。 【確認資料例:ファイル基準表(なればそれに準ずるもの)・実地調査】	規定に基づき、ふれあい館と事務局で適切に管理・保存している。	B	規定に基づき、ふれあい館と事務局で適切に管理・保存している。	B	規定に基づき、ふれあい館と事務局で適切に管理・保存している。	B		規程に基づき、ふれあい館と事務局で適切に管理・保存していた。		
		B	修繕等、施設保全が適切に行われているか。 【確認資料例:事業報告書・実地調査】	4月:ポンプユニット水漏れ修理 5月:集会室1,2の照明器具LED更新 6月:通路誘導灯修繕	B	7月:浴室引き戸修繕 8月:D駐車場フェンス修繕 ろ過装置洗浄・点検 9月:なし	B	10月:なし 11月:マッサージ器修繕 12月:なし	B		1月:ロビーII、及び集客室側廊下照明修繕 2月:男性用脱衣所洗面台配管修繕、エントランス照明修繕、談話コーナー及び女子トイレ照明修繕 3月:なし 年間を通して、修繕等により、施設保全を適切に行った。		
	B	備品の管理が適切に行われているか。 【確認資料例:備品台帳・実地調査】	備品台帳において、適切に管理している。	B	備品台帳において、適切に管理している。	B	備品台帳において、適切に管理している。	B		備品台帳において、適切に管理した。			

令和5年度モニタリングシート

施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用人数 60,000人/年			4月:7,361人 5月:6,756人 6月:6,921人			7月:6,908人 8月:5,980人 9月:6,549人			10月:7,398人 11月:7,024人 12月:6,299人	A	利用人数が年度目標を大幅に上回ったことを評価する。	1月:5,785人 2月:6,153人 3月:6,549人 年度累計 79,683人	
	利用者満足度 90%/年			9月中に実施予定。			8/25～9/20間でアンケート配布。9月末に集計。			職員の対応の親切さや、館内の清潔での満足度が高く、全般的な満足度としては、約99%(大いに満足53.3%、満足45.8%)が満足であると回答した。	B		R5年度の満足度調査としては、約97%が満足であると回答した。引き続き向上に努めていく。	
	施設稼働率 50%/年			4月:60.1% 5月:54.3% 6月:60.7%			7月:58.5% 8月:52.1% 9月:59.8%			10月:60.0% 11月:59.6% 12月:57.9%	A	稼働率が年度目標を大幅に上回ったことを評価する。	1月:58.4% 2月:53.0% 3月:54.3% 年度累計の稼働率は57.4%	
	コミュニティ活動に関する講座 5回開催/年			4月より6教室を予定通り、開講(R5年度より継続)した。			予定通り開講した。			予定通り開講した。	B		自主事業の6教室を予定通り、開講した。	
	講座等の参加者数 500名/年			リラックスヨガ:124名 ズンパゴールド:151名 月曜フラダンス:160名 水曜フラダンス:161名 健康体操:160名 そば打ち:33名 4-6月分合計:789名			リラックスヨガ:36名 ズンパゴールド:38名 月曜フラダンス:53名 水曜フラダンス:48名 健康体操:40名 そば打ち:10名 7-9月分合計:225名			リラックスヨガ:261名 (後期より午後の部を追加で開講) ズンパゴールド:161名 月曜フラダンス:152名 水曜フラダンス:172名 健康体操:150名 そば打ち:30名 10-12月分合計:926名	B		リラックスヨガ:497名 ズンパゴールド:399名 月曜フラダンス:407名 水曜フラダンス:436名 健康体操:397名 そば打ち:82名 合計延べ人数:2,218名	
	事故・苦情の発生件数に対する対応状況 100%/年			4月:3件 5月:4件 6月:2件 全て対応済。			7月:2件 8月:3件 9月:4件 全て対応済。			10月:2件 11月:1件 12月:3件 12月の1件は対応中だが、他は対応済。	B		1月:1件 2月:3件 3月:2件 年間で累計30件の事故・苦情が発生したが、いずれも対応済である。	
	情報誌等の発行回数 4回/年			4月に広報誌を発行した。			7月に広報誌を発行した。			10月に広報誌を発行した。	B		1月に広報誌を発行。 年間で4回発行した。	
定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか。 【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	窓口や意見箱等でその都度適切に対応している。	B	窓口や意見箱等でその都度適切に対応している。	B	窓口や意見箱等でその都度適切に対応している。	B	利用者からの相談及び苦情に適切に対応した。				
節運施設がの図行効らわ率れれたて、ない経管の費理か、の	利用料金収入 3,800,000円/年			4月:394,400円 5月:380,200円 6月:407,800円			7月:426,700円 8月:357,200円 9月:426,000円			10月:377,800円 11月:400,300円 12月:382,600円	A	利用料金収入が年度目標を大幅に上回ったことを評価する。	1月:319,300円 2月:343,700円 3月:365,500円 年度累計4,581,500円	
	利用者一人当たりの市負担コスト(指定管理料/延べ利用者数) 740円/年			年度末で集計			年度末で集計			年度末で集計	A	利用者一人当たりの市負担コストが年度目標を大幅に抑えたことを評価する。	約490円 (指定管理料:38,983,000円/延べ利用者数:79,683人)	
れにで事て、業いづ具のるい体運か、的成事な目業事構が業か行計明画確	定量的	利用者の交流を図る行事 1回/年	B	6月に「ザ・クラスメイツ」さんによる「歌声広場」と題したイベントを開催した。	B	7月:福の神(歌曲演奏・歌) 8月:なし 9月:八王子ギターアンサンブル	B	10月:文化祭(手話ダンス・マジックショー) 11月:漆音会(大正琴) 12月:琴伝流あざみグループ(大正琴・歌)	B	1月:創作手話ダンス・マジック(手話ダンス・マジックショー) 2月:漆音会(大正琴) 3月:八王子ギターアンサンブル 通年で10回のイベントを開催した。				
	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか。 【ヒアリング等で確認】	B	照明のLED化を進め、間引き点灯や採光が確保される部屋や廊下等は消灯している。	B	使用済みの用紙の裏面利用を積極的に実施し、両面印刷や縮小印刷機能の活用もしている。	B	浴室や洗面所、トイレ等で節水のお願いや、止水の確認を促すためのポスターを掲示している。	B	エコアクションプラン及び環境マネジメントシステムに基づき、環境に配慮した管理・運営を行った。		
か個人情報保護管理及び危機管理が図られている	定量的	防災訓練 1回/年	B	9月の防災訓練に向けて、準備をしている。	B	9/11に施設利用者の方を交えて、避難訓練を実施した。	B	9/11に施設利用者の方を交えて、避難訓練を実施した。	B	9月の避難訓練を受けて、避難経路や安否情報の手順を再確認した。	B	年間計画通り9月に避難訓練を実施し、その結果を受けて施設内の設備の確認や職員・利用者の意識の向上に努めた。		
	定性的	個人情報の取扱いが適切であること	B	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか。 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B	規定に基づき、厳重に管理している。	B	規定に基づき、厳重に管理している。	B	規定に基づき、厳重に管理している。	B	規定に基づき、厳重に管理している。		
	定性的	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか。 【確認資料例:保険証券】	B	緊急連絡網の作成と、緊急時の役割担当の確認を行った。	B	災害・防災情報等のハザードマップを改めて確認し、職員間でも施設周辺地域の情報を把握し、備えるよう努めた。	B	職員間では緊急連絡網や役割担当を徹底しているが、利用者へ向けでも災害・防災情報の提供や声掛けに努めている。	B	動産保険・行事保険・施設賠償保険に加入した。	B	事故や災害発生時の緊急対応が適正に行われるよう危機管理体制を整えて運営していた。

B

期末総合評価	
所管課コメント	八王子市社会福祉協議会は、平成18年から長房ふれあい館の指定管理者として、継続して管理運営を行っている。指定管理期間の5期目(令和4年4月から令和6年3月まで)における2年度であった今年度も、これまでの経験を活かしながら、基本協定・年度協定に基づいて適切に施設管理を行っていたと評価できる。 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた利用者数や利用料金を例年の水準に回復させ、施設に活気を取り戻したことや、東浅川保健福祉センターの休館に伴い浴室等の利用が増加した際にアシスタント職員を増員するなど、必要に応じて臨機応変に対応したことも評価できる。 今後も、長房ふれあい館の設置目的である「コミュニティ活動を通じた市民相互の親睦と高齢者の福祉の向上」を目指し、適切な施設管理や利用者対応がなされることを期待する。